

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 180-8588
 住 所 東京都武蔵野市西久保1-6-14
 氏 名 株式会社ジョナサン 印
 代表取締役社長 柳澤 道之
 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項(同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。)の規定により、次のとおり提出します。

| | | | |
|---------------------|--|---------|--------------------|
| 事業者の氏名 又は名称 | 株式会社ジョナサン | | |
| 主たる事務所又は 事業所の所在地 | 川崎市中原区上新城2-11-10 | | |
| 該当する事業者 の要件 | <input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者 | | |
| | <input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者 | | |
| | <input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者 | | |
| | <input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者 | | |
| | <input type="checkbox"/> 上記以外の事業者(任意提出事業者) | | |
| 主たる事業 の業種 | 大分類 | M | 宿泊業, 飲食サービス業 |
| | 中分類 | 76 | 飲食業 |
| 主たる事業 の内容 | | | |
| 事業者の規模 | <input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量 | 1,686 | k l |
| | <input type="checkbox"/> 自動車の台数 | | 台 |
| | <input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量 | | t -CO ₂ |
| 連絡先 | 担当部署 | 担当部署名 | 管理本部 店舗開発 |
| | | 所在地 | 東京都武蔵野市西久保1-6-14 |
| | | 電話番号 | 0422-37-6115 |
| | | FAX番号 | 0422-37-6126 |
| | | メールアドレス | |
| ※受付欄 | | ※特記事項 | ※事業者番号 |

(第2面)

| 計 画 期 間 | 平成22年度 ~ 平成24年度 |
|------------------------------------|---|
| 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針 | 別添 指針様式第1号及び第3号のとおり |
| 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制 | 別添 指針様式第1号及び第3号のとおり |
| 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量 | 別添 指針様式第1号及び第3号のとおり |
| 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項 | <p>店舗水光熱削減の為の意識改善を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷暖房の設定温度の確認と調整を小まめに実施する。 ・高効率照明器具（省エネ球・LED球）への順次更新 ・屋外照明の点灯時間を年間通して調整する、不使用室の消灯の徹底 ・熱効率の高い厨房機器等の順次更新 <p>詳細は指針様式第1号（4面、5面）のとおり</p> |
| 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項 | なし |
| その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項 | <p>廃棄物の減量化・分別化の推進</p> <p>詳細は指針様式第1号（第6面）のとおり</p> |
| 備 考 | <p>当社は地球温暖化対策の取組については、ホームページにて公表しています。 http://www.jonathan.co.jp/home/corporate/safety.htm</p> |

備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。

2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。

3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。

4 ※印の欄は記入しないでください。

5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策計画

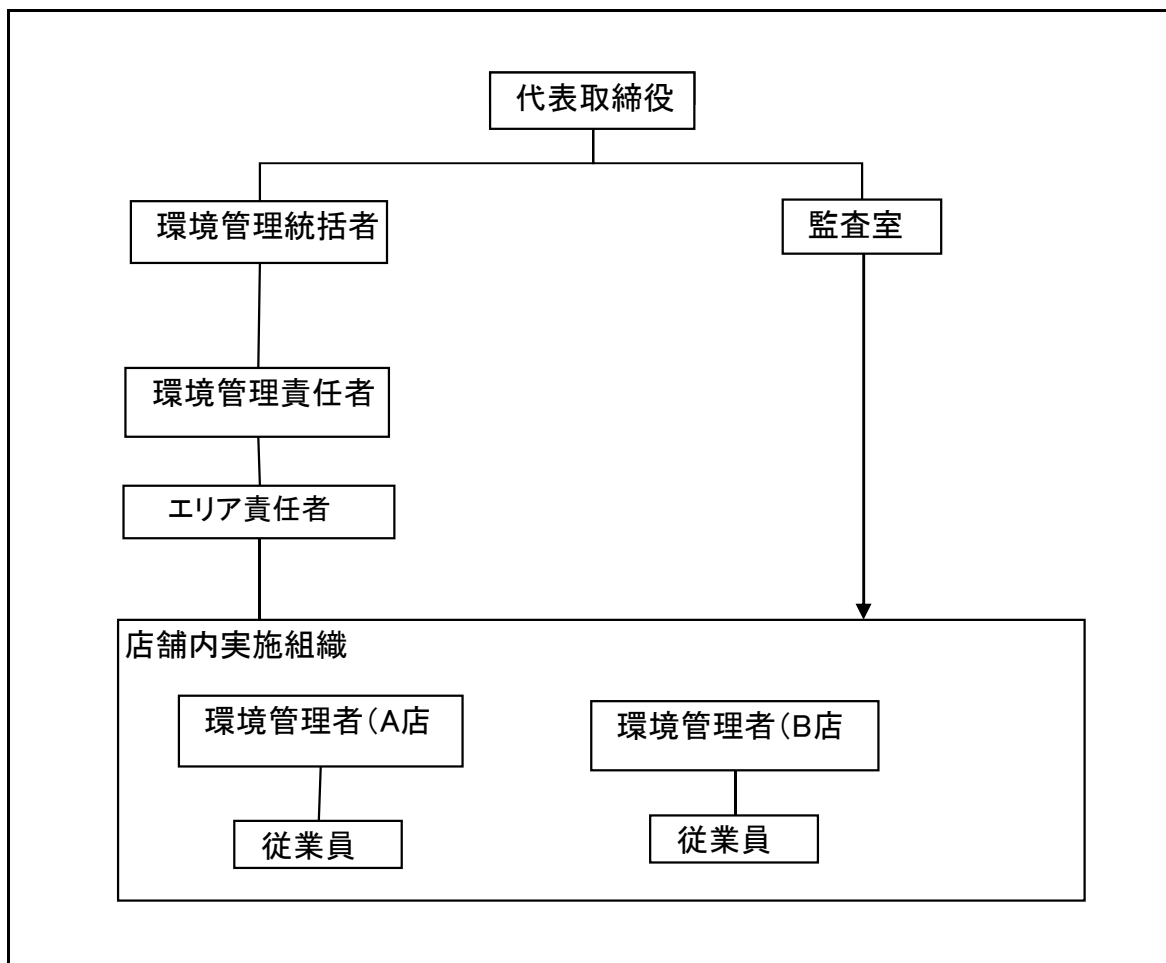
1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

事業所全体の基本方針

下記の方針により積極的な地球温暖化対策を進めていく。

- (1) 地球温暖化対策に関する取り組みを組織的に行い、継続的に対策を推進する。
 - (2) 目標を定め温室効果ガス排出量の削減に取り組む
 - (3) 温室効果ガス排出量の削減に寄与する機器の選定を行う。
- その他、川崎市内の事業所については、ゴミの分別・削減目標を定めて活動する。

2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等 (第1号、第2号、第4号該当者等)

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量

ア 基準排出量と目標排出量

| 基準年度 | 平成21年度 | 目標年度 | 平成24年度 |
|-------|------------------------|-------------------|------------------------|
| 基準排出量 | (実) 2,920 (調) 2,485 | t-CO ₂ | (実) 2,797 (調) 2,380 |
| 削減率 | (実) 4.2 (調) 4.2 | % | (実) 123 (調) 105 |
| | | 削減量 | t-CO ₂ |

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等

| 原単位の活動量 | 単 位 |
|---------------------------|--------|
| 基準年度の値 | 目標年度の値 |
| 削減率 | % |
| 延床面積、生産数量以外の原単位を使用した場合の理由 | |

ウ 目標設定に関する考え方

ジョナサンでは24時間営業の店舗が多く、またお客様の来店状況に合わせて照明のON/OFFが出来ず、常時点灯が必要である。この点に着目して、客席照明へのLED電球の導入が温室効果ガスの排出量の削減処置として有力と考え、数店のモデル店舗にて導入を検討し、検証結果を全体に適用することで、4.2%の削減率が達成可能と考えた。また、改修工事などが予定された場合には、よりエネルギー効率の優れた設備への更新を計画・実施することで温室効果ガスの排出量の更なる削減を図る。

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標 (全社目標)

| |
|--|
| |
|--|

5 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の内容

| | |
|--|--|
| <p>事業所等に係る温室効果ガスの排出の量の削減を達成するための具体的措置</p> <p>(第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等)</p> | <p>組織体制の整備 温暖化対策推進担当の配置をし、定期的な点検・改善案の情報交換をする。</p> <p>主要設備等の保安全管理 室内における空調機の設定温度を温度計に把握し、調整を実施する。</p> <p>照明設備の運用 照明に関しては使用器具の選定（省エネ球やLEDの積極導入）と照明スイッチに点灯範囲を表示し、無駄を無くす。 営業前後の不要照明の停止や不在時等のこまめな消灯</p> <p>冷蔵設備の運用 冷凍・冷蔵庫内の収納物品位置表示をし、開閉時間・頻度を少なくする。</p> <p>水道使用量の削減 水道使用量に関しての意識付けとして、節水表示を各水洗の周辺に設置し、水洗には節水ゴマを設置、毎日の水道使用量を表にし掲示する。</p> <p>オール電化厨房の導入、 熱効率の良い機器の選定する。</p> |
| <p>自動車に係る温室効果ガスの排出の量の削減を達成するための具体的措置</p> <p>(第 3 号該当者等)</p> | |

(2) 再生可能エネルギー源等の利用計画及び前年度末における利用実績

ア 再生可能エネルギー源等の利用に係る考え方

すかいらーくグループ全体の取組みとして、店舗で排出される廃油を再生し、店舗食材配送車への燃料として活用を始めた。

イ 再生可能エネルギー源等の利用計画及び利用実績

| 設備等の種類 | 概要(規模、導入場所、性能等) | 導入年度 | 備考 |
|--------|-----------------|------|----|
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

ウ 再生可能エネルギー源等の価値の保有計画及び保有実績

| 種類 | 概要(規模、場所等) | 保有年度 | 備考 |
|----|------------|------|----|
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

(3) 基準年度の末日までに完了した主な対策内容

省エネルギー設備の導入については、基準年度以前から積極的な取組みを実施して来ている。具体的には下記のような取組みを実施して来ている。
 ○食器洗浄機の節水タイプへの交換 平成21年度末で6割入替え完了
 ○スパゲティ-の茹で麵機省エネタイプへの入替え 平成21年度末で8割完了
 ○オール電化厨房の導入平成21年度末時点にて18%導入

6 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

なし

7 その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

- ・廃棄物の減量化・ゴミ分別化の推進
※店舗で使用する割り箸を中止し、洗浄し再利用できるエコ箸を導入し（平成19年導入）
- ・川崎市温暖化対策推進会議（CC川崎エコ会議）への参加

8 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績

(1) 事業者単位

ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

| | | |
|-----|-------|-------------------|
| (実) | 2,920 | t-CO ₂ |
| (調) | 2,485 | |

イ 第 3 号該当者等

| | | |
|-----|--|-------------------|
| (実) | | t-CO ₂ |
| (調) | | |

(2) 事業所等単位 (第 1 号、第 2 号該当者等)

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500k_l 以上の事業所の一覧

| 事業所の名称 | 事業所の所在地 | 日本標準産業分類 細分類番号 | 事業所に係る 事業の名称 | 温室効果ガス の排出の量 |
|--------|---------|-------------------|-----------------|-------------------|
| | | | | t-CO ₂ |
| | | | | t-CO ₂ |
| | | | | t-CO ₂ |
| | | | | t-CO ₂ |

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k_l 以上 1,500k_l 未満の事業所の一覧

| 事業所の名称 | 事業所の所在地 | 日本標準産業分類 細分類番号 | 事業所に係る 事業の名称 | 温室効果ガス の排出の量 |
|--------|---------|-------------------|-----------------|-------------------|
| | | | | t-CO ₂ |
| | | | | t-CO ₂ |
| | | | | t-CO ₂ |
| | | | | t-CO ₂ |

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k_l 未満の事業所の一覧

| エネルギー使用量の規模 | 事業所数 |
|--------------------------|------|
| 400～500k _l 未満 | |
| 300～400k _l 未満 | |
| 200～300k _l 未満 | |
| 100～200k _l 未満 | 7 |
| 100k _l 未満 | 10 |

(3) 事業所等単位 (第 4 号該当者等)

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 以上 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の一覧

| 事業所の名称 | 事業所の所在地 | 日本標準産業分類 細分類番号 | 事業所に係る 事業の名称 | 温室効果ガス の排出の量 |
|--------|---------|-------------------|-----------------|-------------------|
| | | | | t-CO ₂ |
| | | | | t-CO ₂ |
| | | | | t-CO ₂ |
| | | | | t-CO ₂ |

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 未満 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の数

| | |
|------|--|
| 事業所数 | |
|------|--|